

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1
四国医療専門学校 作業療法学科内
(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp



「新しい年度に向けて」

副会長 松本 嘉次郎

このニュースが届く頃には、今年度の終わりに近づき会員の皆様は忙しい日々を過ごしていることだと思います。

今年度を振り返ると、4月より消費税が8%と17年ぶりの増税、御嶽山の噴火やエボラ出血熱の拡大、ノーベル物理学賞を3名の日本人が受賞する等、良いニュースも悪いニュースも数多くありました。日本作業療法士協会では世界作業療法士連盟(WFOT)大会が6月にあり、5000名もの参加者が集まるアジアで初めての大会という記憶に残る大きな出来事がありました。この四国では、第1回開催から四半世紀となる第25回作業療法学会が香川県で開催されました。委員の皆様や会員の皆様のおかげを持ちまして盛況に会を催すことができたことを学会長としてこの場を借りて御礼申し上げます。

さて、来年度はどのような年になるのでしょうか。4月からは介護保険の改正があります。近年、皆様もよく耳にしている地域包括ケアシステムの構築に各自治体が急ピッチで体制を整えようとしています。それに伴い、協会からも重点項目「地域包括ケアにおける作業療法士の役割強化」として挙げられています。

私事ですが、先日地域ケア会議へ参加してきました。専門職や地域の方がご意見を述べられるのですが、ICFという参加の部分での意見は数多くありましたが、心身機能や活動への意見は少なかったです。作業療法士は全体としてのつながりや予後予測といった部分へのアドバイスが求められていると会議を通し理解できました。

平成27年度は我々作業療法士にとって作業療法士という職種を飛躍させるか衰退させるかという位、大事な時期だと考えています。個人の利益だけではなく職種全体の利益を考え行動し前向きに頑張りたいと思います。

個人の力は微々たるものです。ですが微々たる力が集まれば大きな力となります。会員の皆様と共に力を合わせ「作業療法」を盛り上げていきたいと思っています。



連載企画2 第三弾! 「生きがい」って何だろう?

介護老人保健施設 ふぁみりえ 山地 康生

皆さんこんにちは、連載第二話です。突然ですが普段の生活で日頃行っていることはありますか？仕事や子育て、趣味も含めて、「生きがい」になるものがあると思います。

当施設の利用者に若いころの生活について問うと、現代のように勤めに出るといよりは、家の畑を耕し、収入を得ていたと聞きました。また嫁ぎ先が農家だったので畑仕事を手伝っていた方が多いようです。畑を荒れさせてはいけないという考えが強い時代で、勤めに出ることが珍しく、やむにやめれず畑仕事を続けていたようです。そのため、この時代を生き抜いた人は、「生きがい」という言葉には感覚が薄いと思います。



人にとって「生きがい」とはどんなものなのでしょうか。

生きがいとは、生きる張り合い、生きる値打ちと辞書にはあります。もっと自分の言葉に直すと、目標までの経過、心を支える糧だと思います。利用者に生きがいについて問うと、女性は、子育てや家事、畑仕事と答えます。男性は戦争体験、仕事の話がでてきます。生きがいは子供の成長と、良いものが畑で作れた喜びだったのかもしれない。もし、



生きがいが病気や体力の減退によって阻害されるとどうなるでしょう。さらなる病気の進行、体力低下、感情表出の低下、など悪循環が続いてしまいます。また、家庭では介助負担が増し、施設入所の順番を待つ生活

が続く方もいます。

よって当施設では、今回、生きがいを取り戻すべく、サツマイモを使った「いもきんとん」を作ることを企画しました。収穫した農作物を使用し、料理まで一貫して参加することをテーマにしました。その園芸作業では季節感を味わうために農作物を植えて、水やりや草抜きをして育て、収穫しています。いものツル植えでは、利用者さん個々のお宅のやり方があり、ツル同士の植える距離が違ったり、植える方向や土のかぶせ方などで意見の相違からけんかになることもあります。収穫では土をほぐすのに思いのほか力が必要で男性の職員の力を借りなければ掘れないこともありました。収穫したいもを使って料理をする際、衛生面を考慮し、管理栄養士の指導のもと調理しました。いもをつぶす工程では立位での作業のため、理学療法士も協力して調理を行いました。味見はみんなで行いました。結果、集中した顔、真剣に家庭の味について討論した顔、昔を懐かしむ顔など感情豊かな一面が見られ、生きがいの持っている人の顔に見えました。活動に参加した利用者さんは、夜間不眠の方もいらっしゃいますが今回はよく眠れたという声を聴きました。日中は働き、夜は疲れをとるため眠るといった生活のリズムを作ることに役立ったのではないのでしょうか。こうした活動は毎日難しいですが少しでも利用者さんの残存している能力を見つけ出し、笑いあえる場を作ることが私の仕事でもあり、生きがいでもあります。



新人奮闘記!

～新人OTだから語れる素直な気持ち～

No. 1

橋本病院 回復期リハビリテーション病棟

眞鍋 知佳

(1年目)



私は回復期リハビリテーション病棟で作業療法士として働いています。回復期ということもあり、身体機能や日常生活動作、在宅に向けてのアプローチなど求められるものが多く、日々奮闘しています。病棟配属の作業療法士であり、リハビリ室での機能訓練や日常生活動作訓練だけでなく、病棟で実際の生活場面での介入も多くあります。また、病棟では食事席への誘導やトイレ誘導などリハビリ以外の時間でも患者様と関わりがあり、それをリハビリの場面でも活かすことができるため貴重な体験となっています。まだまだ勉強しなければいけないところも多いですが、患者様の一番の笑顔を見るためにこれからも精進していきたいと思えます。

No. 2

香川井下病院

菊見 勇人

(1年目)



作業療法士として働き始め、はや半年以上が過ぎました。初めは右も左も分からず患者様や先輩方にご迷惑をおかけすることが多くありましたが、先輩方の温かいご指導により何とかやってくることができ少しだけ自信ができました。しかし、先輩方の治療場面を見学させていただいては、まだまだ未熟だと反省するばかりです。先輩方のようなセラピストになれるよう今後も勉学に励み技術を磨いていきたいと思えます。そして、僕をは育ててくれた地域に貢献できるようになりたいです。



先輩の声



No.13 株式会社創心會 創心会リハビリ倶楽部高松中央
若林 佳樹
(5年目)



作業療法を楽しんでいますか？ 医者・ソーシャルワーカー・ケアマネジャーや一般の方など多くの人々に作業療法の楽しさを発信できていますか？

私は現在センター長という立場にあります。OTになってから5年、まだまだ未熟な私ですが、役割上、地域の方・異業種の方・行政の方と作業療法について話をさせていただくこともあります。

その中で私は、作業療法は人々の生活を豊かにすることができるとても素晴らしいものだと感じています。しかし、作業療法について全く知らない方が世の中に大勢いるのです。

これからは、今以上に職種や立場を越えて多くの方々と協力し地域を支えていく時代になっていきます。「作業療法はこんなことができます。こんなに役に立ってます！」ということを世の中に知って頂く必要があります。

そのために、様々な場面で作業療法について発信していきませんか？一緒に作業療法士が活躍する場所を創り出していきます。



No.14 三宅医学研究所
佃 直樹
(6年目)



三宅医学研究所デイケア所属の佃と申します。

月日が経つのは早いもので、今年で勤続6年目となりました。新人だった頃は先輩からアドバイスを頂きながら、ある程度出来上がったレールの上を走るだけで十分でした。よくオン・ザ・ジョブ・トレーニングという言葉を目にしますが、最初は先輩の手本通りに職務を進めるのに一生懸命だったことを今でも覚えています。しかし、6年目にもなってくるとそうも言っていられません。

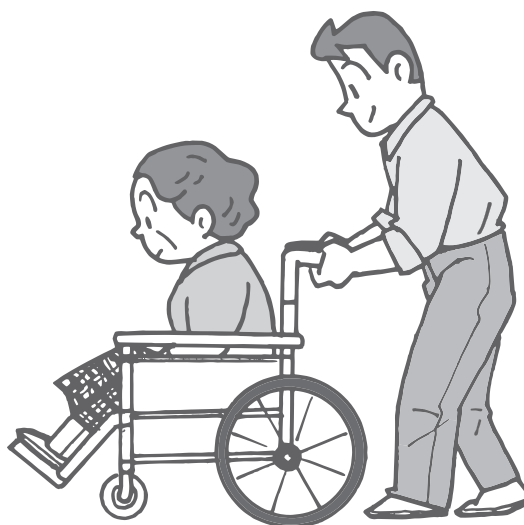
今、新人の方もいずれは感じる時がくると思いますが、経験年数の蓄積に伴って職場からも患者様からも求められるものが変わっていきます。

それに応えていくためには作業療法士としての視野もどんどん広げていかなければなりません。私が学生だった頃、実習地のバイザーの先生から視野が狭いとよく言われたものですが、最近になってその本当の意味が分かってきた気がします。

それと同時に経験年数ばかりが増え、私自身の中身が空っぽになっているのではないかと焦りもでてきました。このままではいけないと自分に喝を入れ、今年こそは自分を変えようと介護支援専門員の資格試験を受けました。試験勉強を進める中でこういった介護制度の知識も曖昧なまま患者様にサービスを提供していた自分が少し恥ずかしくなりましたが、今そのことに気付けたことが良かったと思いました。

医療・福祉の世界は一生勉強だと思っています。でも、勉強したい時、したくない時ってありますよね。私にとって勉強する転機が資格試験でしたが、皆さんはどうですか。

また、勉強会などでみかけたら声をかけてみてください。



病院紹介



No.6

三豊総合病院企業団

当院は西讃地域の観音寺市豊浜町にあり、平成23年に新西病棟が新設され一般病床478床（うち緩和ケア病床12床、感染症病床4床）となっております。平成26年9月から地域包括ケア病棟を開設、同年11月より循環器病センターを開設しています。今年度より新入職員も増え、現在OT7名（うち1名は併設型老健へ出向）、PT19名、ST6名となっております。

平成26年度よりOTも心大血管疾患等リハIを開始し、対象疾患も増え様々な患者様を担当しています。

当院は急性期病院であり入院期間は年々短縮傾向にありますが、疾患についての知識を踏まえた上で患者様の全体像をとらえ、その方の将来像を予測したOTプログラムを提供できるよう心がけております。

また、地域の病院と連携し患者様の情報交換がスムーズにできるよう地域連携パスの勉強会にも積極的に関わっています。



フォトコンテストのお知らせ

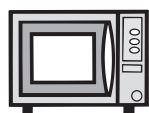


レンズの向こうには何がみえるの？



作業療法士のみなさん、日頃のリハビリを通して心に残る出来事・出会いはありませんか？
訓練風景や日常生活の中で、心温まる場面等をカメラに撮ってみませんか。

- **応募期間** 平成27年3月1日～平成27年6月1日
- **応募方法** お一人2枚まで(L版)
一言メッセージ等を書いて文章と写真を別に下記のメールアドレスに送って下さい。
メールの要件欄に①「レンズの向こう・・・の文章」
②「レンズの向こう・・・の写真」と明記。
メールアドレス(広報部 滝宮総合病院 木村)
riha_ot@takinomiya_hp.com



レンジで作れる簡単レシピ

今回、レンジで作れる簡単な料理を紹介します。火を使わずに（油であげなくても良い）作れるので、火の後始末の心配もありません。また重たいフライパンを洗う手間がなくなり、行程も簡単ですので、よかったら作ってみて下さい。

「鮭の南蛮漬け」

対象者：1人暮らしの高齢者、片麻痺の方、リウマチの方など

〈材料（2人分）〉

鮭……………2切れ
酒……………大さじ1
もやし…適量
人参………1／3本

（漬け汁）

砂糖………大さじ1
酢……………大さじ2
ごま油…小さじ1／2

醤油………大さじ2
だし汁…少々
赤唐辛子（刻んでおく）…適量

※市販のもので、すでに刻んであるものを使用。

〈作り方〉

- ①鮭は骨を取り、1切れを3等分程度に切り、酒をふり、5分程おいておきます。
- ②人参は千切りにし、ラップをかけてレンジ（500w）で2分加熱します。
- ③お皿に①の鮭を均等に並べて、ラップをかけてレンジで1分30秒加熱します。
- ④一度取り出しで裏返します。再びラップをして、更に1分30秒加熱します。
- ⑤漬け汁に②の人参・もやし、④の鮭を加えて、混ぜて出来上がり。



注意点：

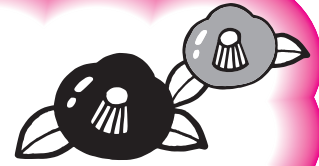
- ・片麻痺があり手の不自由な方は、くぎ付きまな板やスライサーを使用したり、市販で切れている野菜を使用してもいいと思います。
- ・レンジから取り出す際は、火傷に注意して下さい。

患者様の感想：

思ったより簡単で、おいしくできました。魚料理が、レンジでできるのは便利で、身体にも良いと思うから、家でもまた作ってみたいと思います。

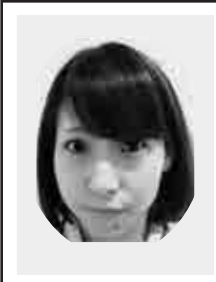
参考書籍：vol.142 月刊デイ

新入・転入会員紹介

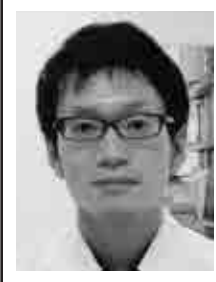


今年度も多くの方が県士会に入会されました。これからよろしくお願ひします。(順不同・敬称略)

①氏名 ②生年月日 ③出身地 ④出身校 ⑤勤務先 ⑥趣味・特技 ⑦職歴 ⑧自己アピール ⑨抱負



①小椋昌美 ③香川県 ④高知リハビリテーション学院 ⑤NHO (独立行政法人 国立病院機構) 四国こどもとおとなの医療センター ⑦松山赤十字病院 NHO高知病院 ⑨今年4月より、生まれ育った香川県で働かせていただく事となり、毎朝の通勤は懐かしい景色を目にしながら、身の引き締まる思いです。初心に帰り、スタッフの皆と協力して、地域の方々に親しまれ、信頼される病院を目指し、励んで参りたいと思います。



①西村卓也 ②昭和62年8月18日 ③香川県高松市 ④専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ ⑤高松平和病院 ⑥趣味：写真・読書 特技：タイピング ⑧継続力 ⑨初心忘れず頑張ります。よろしくお願ひします。



①岡田康紀 ②昭和58年5月19日 ③香川県 ④穴吹リハビリテーションカレッジ ⑤高松平和病院 ⑨小さな変化を大切にしていきたいです。



①川嶋真紀子 ③香川県 ⑤牧羊会 総合ケアセンター ヨハネの里 ⑥サイクリング ⑧そろそろ無理の利かない年になりました。毎朝ドリンクに頼っています。 ⑨頑張ります！



①山田啓介 ②平成2年12月26日 ③岡山県 浅口市 ④玉野総合医療専門学校 ⑤医療法人社団以和貴会 いわき病院 シルバーデイケアきらく ⑥野球・サッカー・釣り ⑨これからもしっかりと勉強して利用者様が笑顔になり満足のいく治療が提供出来るように頑張ります。よろしくお願ひします。

患者さんがつくった

作品紹介



ペットボトルの蓋でのモザイクアート

五色台病院デイナイトケア 津崎 真理子

この作品は、普段ゴミとして処分されているペットボトルのキャップを利用して作成したものです。ひとつひとつキャップをお花紙でくるみ、みんなで描いた下絵の上にキャップをのせていきました。細かな文字の部分はお花紙を丸めて表現しました。単純な作業なので、たくさんの利用者様が作品作りに参加してくれました。作品完成までに時間はかかりましたが、出来上がった作品を見て利用者様は、「まさかいつも飲んでいるペットボトルのキャップでこんなことができるなんて」とびっくりされていました。作品を仕上げるまでの様々な工程をみんなで協力し合い一つの作品を作る事で達成感を感じられる作品になったと思います。



平成26年度 保険部研修会開催報告について

保険部長 川崎 眞一

向春の候、県士会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。保険部研修会「生活行為向上マネジメント」を昨年度の「概論」に引き続き、「演習」を開催しましたのでご報告します。

平成26年11月2日(日)丸亀市民会館において、講師に甲南女子大学 看護リハビリテーション学部理学療法学科 竹内さをり先生をお迎えして、39名の参加者のもと、約4時間の大変有意義な研修会となりました。

講義内容としましては ①概論とシートの記入方法 ②演習（事例を用いた各シートの記入、グループ討議など）でした。

テキストとして、日本作業療法士協会発行の作業療法マニュアル57「生活行為向上マネジメント」を使用しました。

今後は生活行為向上マネジメント特設委員会で継続されていきますので、ご協力よろしく願います。



～リレーエッセイ 35～

麻田総合病院 長尾 亜紀子

「我々（OT）がいるから患者さんがいるのではなく、患者さんがいるから我々がいる。」
また、「リハビリとは愛だ」と学生時代に恩師に教えてもらった。その時からずっと、患者さまと対面する時、何かを決断する時、何かに悩んだ時にはその言葉を思い出して言動するように心がけている。我々は万能ではない。患者さまからの「ありがとう。先生。」に思いあがってはいけない。まだ何かできたのではないだろうか？何か知らなかった事は無かっただろうか？と自分自身に常に問いかけて、今より明日の治療が良いものにすべく日々戦っている毎日である。

現在、14名の素晴らしい仲間達と一緒にどうすれば患者さまやご家族により添えるのかを模索している。未熟な私達だが、皆で戦えば一人の力では想像できない程の力となると信じている。仲間の力や戦い続ける力こそリハビリテーションの真髄ではないかと思う。今後も戦うリハビリを行っていききたい。



(一社)香川県作業療法士会広報部について



広報部長 木村 勇介

皆さんこんにちは。香川県作業療法士会広報部長の木村です。今回は広報部の紹介ということで実際の活動や目的について簡単に紹介したいと思います。広報部は理事が2名、部員15名で活動しています。主な活動としては①広報ニュースの作成・発送、②高校生への説明会、③四国4県同時啓発活動の三つです。まずは①広報ニュースですが、年3回発行しており、皆さんにも届いていると思います。主に会員への情報提供や今後の動向等を伝える目的があります。内容は部員と話し合いをしながら記事を決めたり、書いていただける先生に依頼を行っています。ニュースは県士会員のみに発送されているわけではありません。香川を除く46都道府県の作業療法士会事務局、医師会、看護協会、理学・言語療法士会など多くの関連団体にも発送しているのです。また、他にも一般の方々にも閲覧していただけるよう県士会のイベントブースで配布も行っています。そのため、内容も会員向けの内容ばかりでなく一般の方々が見てもわかる内容も増やし作業療法について少しでも興味を持ってもらえるよう努力しています。②高校生説明会ですが、将来作業療法士を目指している、または進路の一つに考えている学生を対象に年1回行っているものです。内容としては作業療法に関するビデオやパワーポイントを使って基礎や役割などを説明した後、実際に作業療法士が働いている病院の見学や作業療法体験（マクラメやソックスエイドの作成）も行っています。③四国4県同時啓発活動ですが、作業療法の日に合わせてイベントを行っています。マルナカやゆめタウンのスペースを貸していただき、ブースを設けチラシやティッシュ配り、握力測定、バルーンアートなどを行っています。

このように広報部では会員だけでなく一般の方々に少しでも作業療法について興味を持ってもらえるよう1年を通して活動しています。部員は皆若くいつも楽しく活動を行っています。広報部に興味のある会員の皆様、部員募集しています。一緒に活動してみませんか？

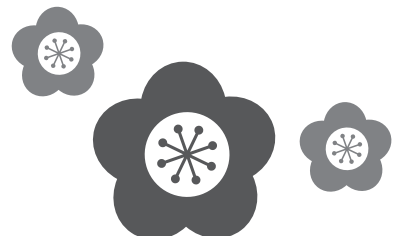
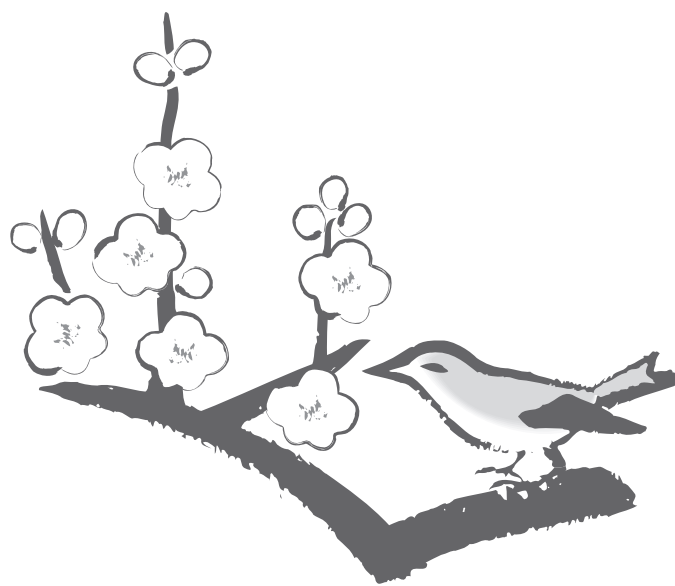
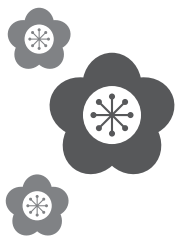


事務局連絡

入 会 山本 有志 (かがわ総合リハビリテーションセンター病院)
安部まなみ (広瀬病院)

異 動 北条 達郎 (西山脳外)→(坂出市立病院)
青戸 聖子 (自宅)→(三木町地域包括支援センター)
三木 尚子 (自宅)→(介護老人保健施設 こくぶんじ荘)
池田 翔 (県中)→(りつりん病院)
上田 恭彦 (阪本)→介護老人保健施設ヌーベルさんがわ

退 会 村山 由莉
植田 賢二
宗内 美和



■(一社)香川県作業療法士会ニュースNo64■

編集長：木村勇介 編集委員：渡田亜裕美・西城悠加・松江沙祐里・真鍋千絵・川口由起子・亀山多喜子・
水口未紅・大岸未佳・西岡奈菜・安藤瑞基・津崎裕也